

令和2年12月9日
宗教法人 阿蘇神社

参道南北鳥居の竣工について

平素より当神社の災害復旧事業にご理解ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、参道の南北端に位置する両鳥居は、老朽化による耐震性の懸念が生じ、平成30年12月に解体撤去されました。その後、熊本県立阿蘇中央高校の演習林からスギ5本の寄贈を受け、それを主たる用材とする工事を進めてまいりましたが、このたび無事に完了いたしました。多くのご支援に感謝し、ここにご報告申し上げます。

なお、この事業には災害復旧の寄附金が充当されています。

今後も復旧事業の適正運営に努めてまいりますので、引き続きご理解ご協力をお願い申し上げます。

記

- 1, 事業名 参道鳥居（南北）再建事業
- 2, 事業期間 平成30年12月から令和2年12月まで
- 3, 事業費 38,459,400円 ※解体工事費を含む
- 4, 受注者
〈設計監理〉 (株)日本建築工芸設計事務所（東京）
〈用材調達委託業務〉 阿蘇森林組合
〈請負工事〉 清水建設(株)九州支店
- 5, 経過
昭和44年（1969） 5月 旧鳥居竣工
平成30年（2018） 12月 解体撤去（耐震性の懸念による）
平成31年（2019） 4月 県立阿蘇中央高演習林から用材（スギ119年生5本）を伐採
令和 2年（2020） 10月1日 再建工事の着工
12月9日 新鳥居竣工
- 6, 特記事項
〈寸法〉横：約10メートル 高さ：約7メートル（中心部分）
〈耐震対策として〉
柱径を45cmから56cmに太くし、高さを30cm下げ、安定性を高めました。
また、基礎底盤を拡大することで耐震性を向上させています。

以上



旧南鳥居 解体前の様子（平成30年12月）



新南鳥居